



2019年6月20日発行 発行責任者 佐々木ナオミ  
〒250-0874 小田原市鴨宮831-7 0465-46-6831

どちらも、これから県や各市町村に降りてくる、大事な案件です。幼児教育無償化は、具体も決まらないうちにこの10月から導入されますが、現場の混乱や、そもそも、本当に子育て世代のためになる制度なのか？など多くの課題を担当の方と話ししました。

今回の無償化で、待機児童はさらに増えることが予想され、その影響で保育園に落ちた方や、そもそも子どもを預けていない方には、なんのメリットもありません。現在、保育料は所得によって決まっているので、低所得の方にもあまりメリットはありません。

そして、これは国の事業なのですが、自治体が1/4の負担をしなければならず、財政厳しい市町村によっては、他の子育て施策の削減につながりかねません。

### もっとシンプルで、 公平な制度に！

むしろ単純に一律に手当てという形で支給した方が保育園や自治体の負担もなく、シンプルかつ公平ではないでしょうか。「バラマキ」と自民党が強く批判していた民主党時代の「子ども手当」の方がはるかによかったです。私は思います。

現政権は、民主党時代の子育て支援策とは全く違うと言いたい。ために、生煮えの政策を強引に押し進めようとしているようです。耳障りのいい『無償化』という魔法の言葉に引きずられてはなりません。現場の声、保護者のニーズに重きを置いた、「まっとうな政策」が必要です。このまま10月か



神奈川県議会の女性有志とともに

だれのための幼児教育無償化なのか？問題山積です。国会でヒヤリングしてきましました！

5月23日は、朝から国会へ伺いました。

神奈川県議会の女性議員有志で、今まさに国会審議中の「児童虐待防止法の改正について」と、「幼児教育無償化」について、立憲民主党の早稲田ゆき衆議院議員と各省庁担当者のお話を聞いてきました。



辻元清美衆議院議員と



早稲田ゆき衆議院議員

ら無償化を進めれば、ただただ混乱を招くばかりではないでしょうか。もちろん、子育て世帯への経済的支援は必要です。しかし、この政策が、「支援」と言いながら、保育をとりまく様々な問題をさらに深刻化させるだけなのではないかと、本当に悩ましいです。

## 大涌谷の現状は？ 箱根町と温泉地学研究所を 緊急視察。

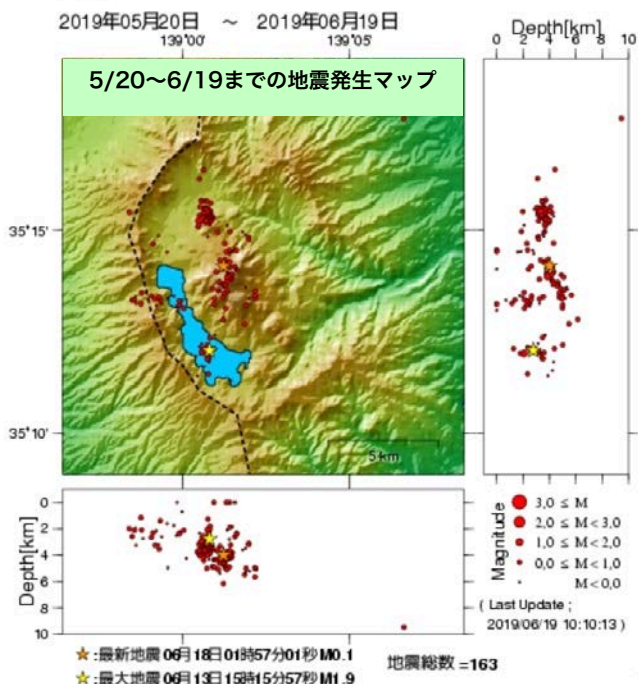
6月7日。私が所属する会派「立憲民主党・民権クラブ」では、箱根町と、温泉地学研究所への緊急の視察を行いました。

箱根町では、大涌谷の噴火以降の町や、住民の皆さんの状況、また火山の防災対策をお聞きしてきました。いまのところ、大きな混乱はないとのことですが、やはりこれから夏のベストシーズンへ向けた、観光客の状況が心配とのことでした。

また、温泉地学研究所では、現状の大涌谷の地



同僚議員たちと、温泉地学研究所へ



震の状況を確認。今回は、比較的落ち着いてきているものの、地盤の膨張や、地震の回数の変化を丁寧に把握する必要性を確認してまいりました。

報道だけではわからない、現場の声を聞き、同じ会派の都市部の議員の皆さんと、県西エリアから選出の私が問題意識を共有できてよかったですと思います。4年前の噴火によるその後の地域経済への深刻な状況を教訓に、風評被害を防止、正確な情報の伝達に、会派としても取り組んでいくことを確認させていただきました。

## 殺処分ゼロを実効あるものに。 動物愛護センターリ ニューアル。

6月1日。神奈川県が運営する、新しい動物愛護センターの開所式に参加しました。

犬と猫の殺処分ゼロを実現した神奈川県では、動物愛護センターを「生かすための施設」としてリニューアル。木をふんだんに使った開放的で暖かな雰囲気、医療やトリミング、保護された犬たちが自由に外に出られるお庭までが整備された、動物たちにとって快適な施設となつていきます。旧施設の解体後はドッグランも整備する予定。

ペットの命を守る取り組みは、市議時代から私が大事にしていたテーマです。国でも、動物虐待に関する厳罰法の改正が行われ、また、殺処分ゼロに伴うボランティアの皆さんの負担の軽減、ペットとの同行避難

の推進など、これからも県議としてのこのテーマにしっかりと取り組んでまいります。



↑米村議員、望月議員と。

猫カフェみたいなおしゃれな内装→